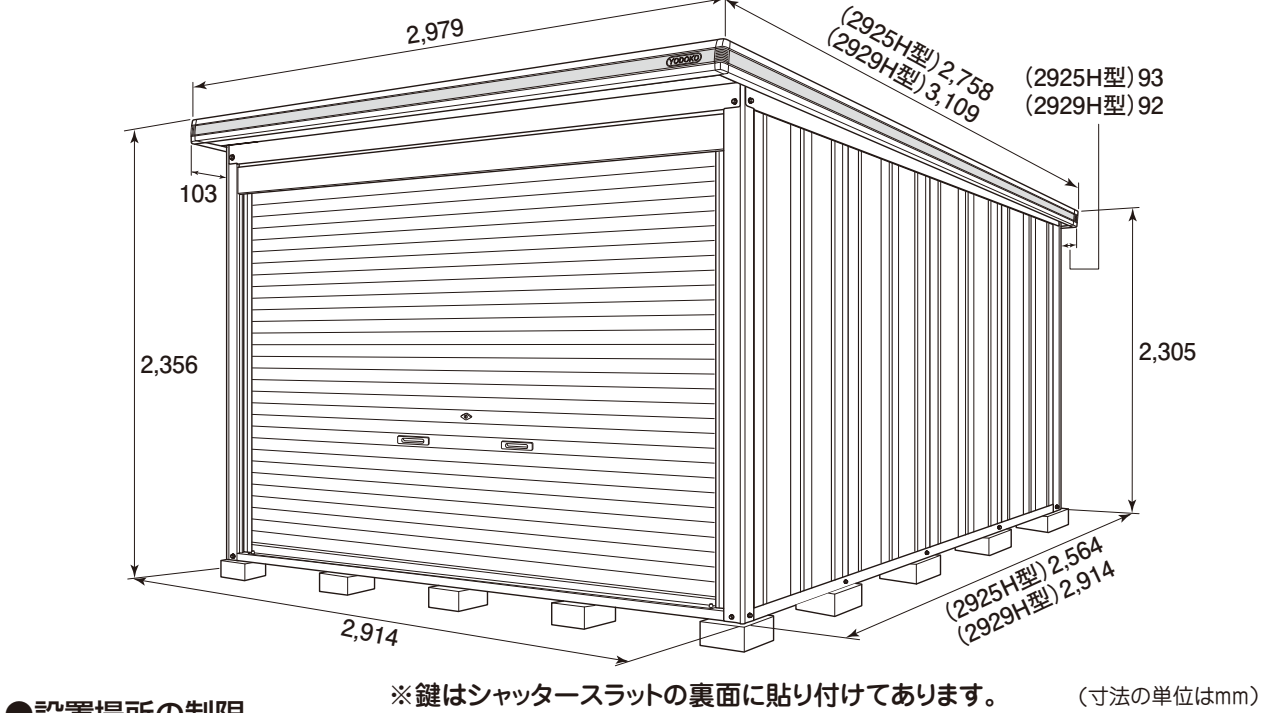


ヨド物置エルモシャッター

単棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(S)・2925HF型・2929HF型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。
※この組立説明書は2929の図で説明しています。2925の場合も組立手順は同じです。
よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者に依頼ください。)



- ### ●設置場所の制限
- #### △注意
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。
- ### ●施工前の注意点
- #### △注意
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
 - 部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 重い部材・梱包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
 - 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

梱包組合せ表		
機 種	2925 型	2929 型
枠	部 品	LO5-0111
	上枠前後	一般型
	上枠前後	積雪型
	下枠前後	一般型
	下枠前後	積雪型
	上枠左右	一般型
柱	柱	LO5-0413
	間柱	一般型
	間柱	積雪型
	間柱	一般型
	間柱	積雪型
	間柱	一般型
補強	一般型	一般型
	一般型	一般型
	一般型	一般型
	一般型	一般型
	一般型	一般型
	一般型	一般型

梱包内容表		
●部品	2925 型	2929 型
LO5-0111	数量	数量
部材名	数量	数量
ボルト M6×15 (白)	273	
ボルト M8×21	5	
ナット M6-16 用	5	
ELD アンカープレート (L)	4	
ELD 前連結金具	1	
ELD 屋根間隔筋 A	7	
ELD 屋根間隔筋 B	1	
組立説明書	1	
取扱説明書	1	
保証書 5 年	1	
●上枠前後	2925 型	2929 型
LO5-0207	数量	数量
部材名	数量	数量
LOD 上枠前 A4.0	1	
LOD 上枠後 A4.0	1	
LOD 上枠前 A4.0S	1	
●下枠前後	2925 型	2929 型
LO5-0227	数量	数量
部材名	数量	数量
LOD 下枠前 YK A4.0	1	
LOD 下枠後 YK A4.0	1	
LOD 下枠前 A4.0	1	
LOD 下枠後 A4.0	1	
●上枠左右	2925 型	2929 型
LO5-0306	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 上枠左 A3.5	1	
ELD 上枠右 A3.5	1	
●下枠左右	2925 型	2929 型
LO5-0357	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 下枠前 A4.0	1	
ELD 下枠後 A4.0	1	
ELD 下枠前 A4.0S	1	
●間柱	2925 型	2929 型
LO5-1460	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 間柱 前側 3.5H	2	
ELD 間柱 側中 3.5H	2	
ELD 間柱 側後 3.5H	2	
●間柱	2925 型	2929 型
LO5-1462	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 間柱 前側 4.0H	2	
ELD 間柱 側中 4.0H	2	
ELD 間柱 側後 4.0H	2	
●屋根	2925 型	2929 型
LO5-0962	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 屋根 前側 A4.0	1	
ELD 屋根 側中 A4.0	1	
●屋根	2925 型	2929 型
LO5-0963	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 屋根 (35) A3.5	4	
●屋根	2925 型	2929 型
LO5-0962	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 屋根 (35) A4.0	2	
●屋根	2925 型	2929 型
LO5-0963	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 屋根 (35) A4.0	3	

○部材名称にA3.5、A4.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しています。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

- ### ●施工時の注意点
- まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
 - 部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
 - 部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
 - 部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立してください。ボルト孔が合わない場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
 - 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆがみがないか確認してください。
 - シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくご確認の上、組立を行ってください。

- ### ●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)
- ・コンクリートブロック 個数は①基礎施工を参照ください。(幅19cm (39cm) ×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
 - ・コンクリート (サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)
 - ※土の上に設置する場合に必要です。
 - ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。
- ### ●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6・M8ボルト・アンカーボルトの締結用のスパナまたはモンキー、ペンチ等工具、サゲフリ
- ### ●使用ビス一覧
- (各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15 (白) を使用します。)
- | | | |
|-------------------|---------------|-----------------------|
| 7 15 上枠前後強と前板の取付け | 14 プラケットの取付け | 16 シャフトの取付け |
| ボルト M6×15 (白) | ボルト M8×21 | ※シャッタープラケットに取り付けています。 |
| M6 ナット (W16) | ボルト M8×60 (白) | M8 ナット (白) |

- ### ●アンカー工事について
- アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。
- #### 《土の上に設置する場合》
- 4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。
- #### 《コンクリート床の上に設置する場合》
- オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上)で固定してください。
- #### △注意
- 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基盤風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

- ### 1 基礎施工
- (詳細図面は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)
- 設置場所の地ならし、地固めを行います。
 - 水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)
- #### △注意
- 基礎の水平が出ていないと以下のよう不具合が出てきます。
- #### △注意
- 床補強(オプション)を取付ける場合は、破損部のブロックの幅が変わります。オプションの組立説明書を先にご確認ください。
- #### △注意
- 内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にご確認ください。

- ### 2 下枠の組立
- 下枠前・下枠後を基礎ブロックの上に設置します。
 - 下枠側左右を(下枠前・下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。
- #### △注意
- 基礎の水平が出ていないと以下のよう不具合が出てきます。
- #### △注意
- 床補強(オプション)を取付ける場合は、破損部のブロックの幅が変わります。オプションの組立説明書を先にご確認ください。
- #### △注意
- 内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にご確認ください。

- ### 3 床の設置
- 床補強を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。
 - 床板を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。
- #### △注意
- 床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

- ### 4 床押えの取付け
- 床押えを下枠前・下枠後に取付けます。
- #### △注意
- 後部に取付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。

- ### 5 柱の取付け
- 柱前左右・柱後を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
- #### △注意
- 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

- ### 6 上枠前後の取付け
- 上枠前・上枠後を柱前左右・柱後にボルト止めします。
 - 上枠前のツメを柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
 - 上枠後のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
- #### △注意
- 上枠前は図のように柱前左右の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。

- ### 7 上枠前補強の取付け ●積雪型の場合
- 上枠前補強を室内側から柱前左右に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。
 - 中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。
- #### △注意
- この工程で付け忘れると大がかりな解体が必要です。

- ### 8 上枠左右の取付け
- 上枠左・上枠右を柱に取付けます。
- #### △注意
- 上枠前は図のように柱前左右の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。

- ### 9 間柱側・後の取付け
- 間柱後の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
 - 間柱側も同様に取付けます。
- #### △注意
- 間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。(工程4参照) 間柱後が床押えに干渉。間柱後

- ### 10 屋根の取付け
- 屋根を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
- #### △注意
- 屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。

